

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年10月12日

都市名・国 広島市

取組の名称	国際理解デー
実施主体 (該当項目に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	多文化共生・国際理解 (例:核兵器廃絶、テロ、暴力など)
対象者 (年齢・学年、人数等)	小学生・保護者、地域の方 (小学生116名、保護者や市民50人など)
実施場所	広島市立基町小学校
実施期間	平成30年1月26日 毎年1月に実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生から6年生(6歳～12歳)までの子どもたちが縦割りのグループに分かれ、ウォークラリー形式で異文化に触れるコーナーを回り、異年齢児童間のつながりを深め、楽しみながら世界の国々や地域に関する体験をし、知識を深める取組である。その活動の中で、子どもたちが発達段階に応じて、周りの人と仲良くすること、世界の人たちが幸せに暮らすために自分ができることを考え、表現することを目指す。 ・子どもたちはそれぞれ自分の名前や似顔絵が書いてあるパスポートを持って、インドネシア、韓国、ドミニカ共和国、モンゴルの4カ国のコーナーを30分ずつ回り、それぞれのコーナーで4カ国の事情に詳しい保護者や広島在住の外国人や日本人のゲストティーチャー6人から、民族衣装や食文化など、その国に関する様々なものを見せてもらいながら、説明を聞いたり、体験したりした後でパスポートにスタンプを押してもらい、多様性を積極的に評価したり、共通性や価値に気付いたりする体験をした。 ・参観日として、保護者や地域の方も子どもたちの活動を見守った。 	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、それぞれの国の文化に触れる体験を楽しみながら、異なる国に対する親近感を感じていた。 ・参加した地域の方々からの反応として、「子どもたちが自然体で様々な国の文化・習慣に触れている姿に感動した。」「地域にも、もっと呼びかけてこの取り組みを広げていきたいと思った。」というものがあつた。 	
<p>成果</p> <p>多様性を尊重する気持ちが生れていた。</p>	
<p>課題</p> <p>在籍児童の出身国のゲストティーチャーを招へいするように心がけているが、ゲストティーチャーの選出については今後、外部機関との連携も考えていきたい。</p>	
<p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>それぞれの国の衣食住や子どもたちの生活などを図書や実物映像を活用して提示した。</p>	
<p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



国際理解デー（韓国のコナー）



国際理解デー（インドネシアのコナー）